広報伊方町

発行人 愛媛県西宇和郡 伊方町
編集 伊方町総務課
印刷所 尾上印刷所 八幡浜市天神通 電話91番

東山農道新設 漁港災害復旧」など 追加額二、一〇三万円

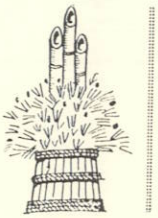
35回定例議会開かる

伊方町議会第三五回定例会は、十二月二十四日開会され、一般会計歳入歳出第六回追加更正予算、昭和三十七年度伊方町一般会計歳入歳出決算、伊方町特別会計国民健康保険歳入歳出決算、伊方町特別会計上水道歳入歳出決算、伊方町特別会計物品集中管理歳入歳出決算を認定、また区域外における営造物の設置に関する協議など全議案を可決、二十五日終了しました。

1、投票管理者等の報酬支給の特例に関する条例について
2、昭和三十八年度伊方町一般会計第五回追加予算について
3、伊方町国民健康保険税条例の一部改正について
4、伊方町大浜保育所新築工事に係る請負契約の締結について
5、三七災三号田ノ浦漁港防波堤復旧工事に係る請負契約の締結について
6、三八災応急一号鳥津漁港防波堤復旧工事に係る請負契約の締結について
7、伊方上水道施設工事（分割の二）に係る請負契約の締結について
8、伊方町母子健康センター新築工事に係る請負契約の締結について
9、辺地対策事業費充当起債について
10、簡易水道施設整備事業費充当起債について
11、上水道施設整備事業費充当起債について
12、母子健康センター建築事業費充当起債について
13、伊方町営土地改良事業施行条例制定について
14、区域外における営造物の設置に関する協議について
15、昭和三十八年度伊方町一般会計歳入歳出第六回追加更正予算について

追加総額二、一〇三万円
主な内容は
土木費＝町道四二号線新設事業六四万円、町道川永田ー白子谷線改良事業六〇万円、伊方漁港局部改良事業八七万円、田ノ浦漁港突堤修築事業五二万円、九町漁港（二見）突堤災害復旧三三万円、道路整備事業七九万円
教育費＝給食施設、二見小学校災害復旧工事などで五二万円計上されています。
社会労働施設費＝老人クラブ助成、伊方保育所増築費、大浜保育所建設費など六一万円です。
保健衛生費＝母子健康センター建築費など五九万円です。
産業経済費＝林道大峯線災害復旧工事二二万円、治山事業三〇万円、林道有寿来線新設工事五〇万円、林道中峰線新設工事三〇万円大浜農道新設工事四五万円、東山農道新設工事一二六六万円などが計上されています。

16、昭和三七年度伊方町一般会計歳入歳出決算認定について
17、昭和三七年度伊方町特別会計国民健康保険歳入歳出決算認定について
18、昭和三七年度伊方町特別会計上水道歳入歳出決算認定について
19、昭和三七年度伊方町特別会計物品集中管理歳入歳出決算認定について



ごあいさつ

伊方町長 山本長松

ことしは〝タツ〟年であります。龍は雲を得て天に昇る――ということからタツ年は万事が生成発展して上昇の一途をたどる〟とし〝たといわれます。

去年はウ年で兎がピョンピョンとはねるように〝飛躍〟の年だといわれたが、はたしてそうであったか。伝えられるように〝物価〟が飛躍したにすぎないかもしれません。経済の高度成長は、最近地域的、産業的に格差を生じることとなり、特に首都を遠くはなれた愛媛県、しかも農業を主体とした立地条件に恵まれない伊方町としては、どうしても農業の振興をはかることが第一であります。

なかでも成長作物とされている果樹、畜産に力を注ぐことはもとより、ことしは農業構造改善事業の実施計画の段階にあり、畑地基盤を確立し、労働力不足を機械力でおぎない生産性向上の方途を開拓しなければならないと存します。

またこれらと併行して農業のビジョン（未来像）をシクとして町行政五カ年計画を策定したいと思っています。更に今年度は伊方小学校舎建築という大事業をひかえております。これらの施策を実現するためには、どうしても町民各位の御理解と協力が最も大切であります。

庁内にありましては、公僕としての人間錬成、事務能率向上のための事務改善の実施、職員の自覚と職場秩序の確立を図り町民の期待にそい得ますよう、よりよき町政にいたしたいと思います。

日新たに、日々にまた新たに、一年一年の反省の積み上げを反省いたし努力いたす所存であります。年頭に当り御挨拶といたします。

昭和38年9月15日現在調製

基本選挙人名簿投票区別部落別登載者調

（昭和38年12月20日現在）

投票区	有権者数 男	女	計	部落別	有権者数 男	女	計
第1	526	631	1,157	浦浦一二	235	308	543
				湊浦之浜	42	40	82
				仁田浦	153	173	326
				小中浜	96	110	206
第2	346	371	717	大浜	234	253	487
				中之浜	112	118	230
第3	151	195	346	河内	151	195	346
第4	148	154	302	伊方越	70	71	141
				亀浦	78	83	161
第5	446	551	997	永田一	241	303	544
				永田二	88	111	199
				川中浦	117	137	254
第6	298	327	625	豊之浦	298	327	625
小計	1,915	2,229	4,144		1,915	2,229	4,144
第7	602	701	1,303	奥	103	108	211
				向	140	130	270
				畑	110	136	246
				須賀	107	138	245
				久保	77	88	165
				西	65	101	166
第8	62	81	143	二見	62	81	143
第9	275	318	593	加周	78	93	171
				田浦	136	151	287
				古敷	61	74	135
				之屋			
第10	79	89	168	大成	79	89	168
第11	63	80	143	鳥津	63	80	143
小計	1,081	1,269	2,350		1,081	1,269	2,350
合計	2,996	3,498	6,494		2,996	3,498	6,494

卒業期をひかえて

間もなく卒業期であります。卒業をひかえている中、高校生とその家庭は、特別の配慮が必要です。ことに中学校、高等学校の最終学年にある者は、就職や進学に直面しているので、精神的な負担と動揺が大きい。毎年、青少年の家出や自殺が多くなるのも、この時期、このことに関連があるのではないでしょうか。

卒業期をひかえた青少年と家庭に対し申上げたいと思います。

(1)青少年に対して

卒業は、終わりであると同時に新しい出発点であります。すたたないように心を配り、健康状態についても十分に気をつけてやる必要があります。学校とも密接な連絡をとり、事に当って慎重に対処し、激励と過度の要求とを賢明に区別するように努めなければなりません。かりにしあうことがなくなるかもしれない。

また季節の上では、いぜんとして寒く、健康をそこないやすい時期です。入試や就職試験などの時に、病気で倒れることがないように、何よりも健康に留意しなければなりません。そして、いつでも悩みを打ちあけて相談できる人をもっていることが大切です。ちょっとしたつまずきや失敗を、ひとりで絶望的に考えこみ、思い余った行動に走らないように、だれかに打ちあけたり相談することが必要です。

(2)家庭に対して

親は家庭内を、つとめて明朗なものにするよう努力すべきです。その言動でも当人がいらだたないように心を配り、健康状態についても十分に気をつけてやる必要があります。学校とも密接な連絡をとり、事に当って慎重に対処し、激励と過度の要求とを賢明に区別するように努めなければなりません。かりにも、親のほうが子ども以上に過敏になって、いらいらさせるようなことがあってはなりません。

大臣表彰をうく

母子衛生優良町として

伊方町は十一月二十日開催された第七回全国母子衛生大会において母子衛生優良町として厚生大臣より表彰をうけました。

昭和二十六年家族計画普及の組織が結成されて以来、昭和三十五年にいたるまで、組織を中心に母子衛生活動、家族計画指導等が実施され、三十五年以後はさらに育児学級、若妻学級等も実施し、事業内容の充実をはかり、これらの事業により母子衛生に対する関心が急激にたかまり、その結果、乳児死亡率、死産率は、著しい改善をみたことに対し授与されたものです。

★ ★

昭和三十九年の新春をむかえつつしんでみなさまの御健勝をおよろこび申上ます

町長 山木長松
助役 大木亀夫
収入役 城岡武夫
◎総務課
総務課長 武田庄松
庶務係長 脇田道
企画調整係長 樹田佳明
戸籍係長 橋本高俊
税務係長 二宮長幸
◎厚生課
厚生課長 兵頭熊一
庶務係長 二宮一郎
国保係長 清水義久
国民年金係長 宿見正志
◎産業建設課
産業建設課長 畑木直隆
庶務係長 西田恵明
工務係長 成田希儀
振興係長 山口和哉
◎会計室
副収入役 水戸五雄
室長 井上鶴敏
◎町見支所
町見支所主任 得能恒義
◎伊方保育所
所長 林鍛
◎九町保育所
所長 大林雅男
◎加周保育所
所長 古田一郎
◎豊ノ浦保育所
主任保母 井上多可子
◎大浜保育所
保母 三木節子
◎伊方町教育委員会
教育長 井桜政勇
教育次長 岡崎春長
◎伊方町議会事務局
局長 岩井正
◎伊方町誌編集室
茅田一雄
菊池武雄
篠沢国照
藤岡末尾
松田文治郎
樫尾寛
松下鶴行
阿部森兼
竹場兼男
山下日吉
上田光春
大沢末広
中川鳳之
亀井源松
福田儀郎
兵頭宇三郎
宇都宮勇
中田弥

年頭の辞

議会議長 亀井源松

伊方町議会議員（議席順）

町民のみなさん、新年おめでとうございます。

わたくしは昨年五月に議長に就任いたし、町民のみなさんのご支援を唯一の力として「住みよい伊方町」の建設に懸命の努力をいたしております。今後もあらゆる問題について町理事者と相談り、この新しい年がみなさまのために明るくて希望に満ちた年にしたいと念願しております。

わたくしも謙虚と誠実を心とし事に臨んでは厳正にこれを処すよう決意を新たにいたしております。

明けゆく昭和三十九年がみなさんにとりまして最良の年でありますよう心からお祈りいたします。

成人と国民年金

一月十五日は成人の日です。二十歳になると法律上の成人として一人前の扱いをうけ、選挙権もうえられて、名実ともに社会人となります。一人前の社会人である以上責任と義務があることは当然のことでしょう。

その一つとして二十歳になると国民年金の加入者になるということです。

国民年金は二十歳から六十歳までの国民で、厚生年金保険や各種の共済組合に加入していない人達の必らず加入しなければならない制度です。

伊方町においても今年一一七名の人達が成人として社会から認められることになっています。このうちで、官庁、会社、工場などに勤めている人達を除いて、自分の家業に従事しているものは約三十名います。この人たちは必らず加入して下さい。

毎月、わずかな掛金で将来の老令、廃疾、死亡といった生活の不安を年金によって少しでも緩和しようという目的で、全国民を対象としたものになっている事です。

成人の日を機会に、国民年金の趣旨を考えてみることもまた必要なことです。

国民年金への加入は、みなさんが直接届出てもよいし、世帯主が本人にかわって届出ることもできますが、こうした手続きは、保険料を集めている年金委員さんなどにお願いしてもできます。

戸籍抄本や住民票をつけるという必要もありません。役場へ加入の届け出をすればよいことになっています。

保険料は二十五歳になる迄毎月一〇〇円、三十五歳以上は一五〇円の僅かな金ですから、すぐに届けをして下さい。

大浜（男四名女二名計六名）
中藤サカエ、山下保夫、水本亀雄、宮崎稔、宮藤栄治、太墨幸江
二宮ブジ子、義城英樹、井田美保子、菊池輝彦
仁田ノ浜（男二名女三名計五名）
岡山隆子、渡辺信昭、米沢祥忠、中元報乃、木下康男
河内（男四名女一名計五名）
薮森信男、長野智子、上野正照、上田義勝、菊池保武
浜浦（男八名女六名計一四名）
米田勝彦、吉本富子、中田勝子、山下昭子、福山長後、松田真人、菊浜紳夫、二経新一郎、三浦光郎、清水千恵、朝矢守、管原ヤスコ、明神恵吉、岡本和子
小小浦（男二名計一名）
大浦行男
中浦（男一名女二名計三名）
長頭由規、竹内任子、矢野幸子
川永田（男六名女四名計一〇名）
宇都宮力子子、鎌土勝利、藤川富喜子、大原高栄、粉屋節子、吉川幸晴、松田正明、藤川出計、阿部報子、菊池和郎
亀浦（女二名計二名）
向井敏忠、清水ヤヨ子、宮内梶子
伊方越（男二名女一名計三名）
岡田昭吉、菊池義光、神野利子
ヤノ浦（男八名女三名計一一名）
井上宏、井上良一、井上ヒロエ、井上重唯、岡崎子之、渡辺繁子、吉川徹志、辻清勝、中川強、上田誠志、坂本秀之
奥（男二名計三名）
田丸宗正、城間義彦、城間孝夫
向（男二名女四名計六名）
笹川光正、奥本サト子、谷口正男、高須賀寿子、下岡光子、下向マツミ
畑（男三名女二名計五名）
石上知寿子、捉美なつ、坪内忠雄
奥武内タエ子、坪内忠雄
須賀（男二名女三名計五名）
井田与志唯、岡村義晴、管原栄子、菊池忠子、三根生和子
久保（女二名計二名）
奥田光子、田村瑞美子
西（男三名女四名計七名）
二宮洋、徳田光明、徳田喜久美、大林輝子、根来公子、阿部邦雄、阪戸正子
二見（男三名女二名計五名）
大野瑞穂子、大西勝利、上田栄、上田一久、山口敏勝
加周（男二名女一名計三名）
平家照男、茅田睦恵
甲浦（男一名女二名計三名）
金山クミ子、吉田仲夫、亜細靖、吉原敏（男一名女二名計二名）
西村貴一郎、相原井洋子、上野宗子
大成（女二名計三名）
二宮ミツ、西野タツ子、山根香代子
鳥津（男三名女五名計八名）
鳥津勝子、鳥津佐登美、川口勝、川口タエ子、竹上雅美、上田里美、山田亀好、山岡秋美

広報のしおり

晴れ着を着る機会の多い時期です。万一よごれたときのとっさの処理法は次のようにします。

しょうゆ・酒のシミ

かわいた白い布を下にあて、ぬる湯をガーゼにぬぐまずに下の布地にもこれを移すようなつもりで、しみの上を移すたびにまず。補織物の場合は縫合しますから、さっと手早くします。

靴ずみ・コーヒーのシミ

ベンジンでふきとるのですが、コーヒーの場合は、先にぬる湯で処理をしてからのほうが効果があります。

果物のつゆ・汗のシミ

汗はアンモニア水でふきとり、くだものつゆはぬるま湯で処理をしておいてからアンモニア水を使います。

ひとしたこれの場合とか、布地で安心していると、ガスコンロやをいためる心配のある時は、可門石油ストーブなどはこがたまっ家にはくさまがせたほうが無難で不完全燃焼をおこしやすくなります。一番がためになるかどうかと、ます。お天気のよい日にていねいいうことをあらためれば、クリーニンや代を出すことを惜しまないほうがよいでしょう。

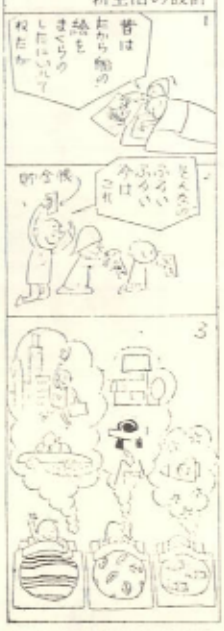
なお、晴れ着をしまう時には新の日のところに防虫剤を細くまるいわがでときません。

暖房器具のくあいはどうでしょうか？汗からずっと使いっぱなしのコンセントを必らずつけるようにしましょう。

工事費は配線の状態で多少違いますが一口千二百円前後、二口並べれば千四百円ぐらいですみます。

初夢・今と昔

新生活の設計



やく年

"やく（厄）年"は中国の古い陰陽説によるものであるが、男は二十五、四十二、六十才、女は十九、三十三、四十二才が大やくとされている。

昔からおましない的なやく年としの風習はいろいろあるようだがやく年のものについては、いちがいに否定できない根拠がある。つまり、統計的にみてその年ごろの死亡率が比較的高く、また社会的な経済的多い年令にあたるようである。

十五、六才から二十才ごろというのは、身体的に子供からおとなになる成長期であり、心理的にも変化がみられる。そしておとなのすぎるということかもしれない。生活の乱れた一面を見ると、それがすべてであるかのように感じて反発するようになる。この時期に家族の者とか、あるいはグループこうすることが心身の健康のために良い相談相手のいる場合にほう楽である。

何か自分の能力に応じた趣味とか仕事を持って、毎日を楽しくまくらりきれるが、扱い方を間違えるとグレたり、性格的に陰気な人になってしまう。

就職、結婚、子供の誕生などが過ぎて四十才ごろになると、生理的にさらさらと行くなる。しかし仕事の上は責任が重くなる時期であり、自分は実力があっているので、つい無理を重ねて大病にかかってしまうことがある。四十才前後になったら、寝不足とか疲労の積み重ねにならないように十分注意することが必要である。

六十才になると、肉体的に変ガーブでおとろえてくる。ことに定年などで仕事から離れたりすると気持ちもゆるんでガックリと急に年をとる。また、絶えず神経質になり、男女問わずくちっぽくなる。

歳末たすけあい

ありがとうございました

昨年十二月歳末をむかえるにあたって、施設収容者や落伍者の恵まれぬ人々に対し援護活動としてみなさんからいただいた金は、三八、九〇〇円の多額に達しました。町では早速二十七日婦人会長さんの御協力で、長期入院患者、施設収容者などを、それぞれ訪問しあたたかい贈物をおとどけいたしました。厚く御礼申上げます。

お礼

千葉県千葉市千葉寺町九九六川田要氏（当町鳥津出身）より千円、銭第五寮天四に住いの井関正直氏（当町伊方越出身）より千円、大阪市東淀川区三国本町二丁目一七三に住居いの村上茂代治氏（当町畑）より千円、市民病院塚本通り御旅本市場の上田要氏（当町鳥津出身）より千円、それぞれ広報編集の費用にと御寄附いただきました。紙上より厚く御礼申上げますとともに、御健康を祈ります。

出火御見舞の御礼

過日の出火に際しましては、消防団の方々をはじめ、みなさまだには、早速お駆けつけ消火に御尽力され、かつまた多くの方々から温情こもる御見舞の数々をいただき御礼の申しあげようもございません。

早速拝顔の上お礼申し述べるべき筈のところ、取敢ず紙上をもってお礼かたがたごあいさつ申しあげます。

伊方町九町　菊池嘉重
〃　大沢　〃　　謹

人

婚姻（昭和38年1110月1920日～）

出生（昭和38年1110月1920日～）

死亡（昭和38年1110月1920日～）

婚姻（昭和38年1211月1920日～）

出生（昭和38年1211月1920日～）

死亡（昭和38年1211月1920日～）